

科目：成人看護概論 ② 2021.9.8(水) 担当：木下文美	番号	氏名
------------------------------------	----	----

【前回①の振り返り】

◆成人看護学がめざすもの

◆多様性／Diversity ダイバーシティ

人種や国籍など目に見えやすい違いだけでなく、価値観や宗教など、目に見えない内的な違いに関して公平であることもダイバーシティにつながるポイント。日頃からあたり前と捉えている価値観が、育った国や環境、触れてきた物事の違いによってそうでないこともある。それぞれの立場をよく知り、尊重することが大事になってくる

◆多様性／ダイバーシティどんな時に使うの？

たとえば性別年齢等は一切関係なく、全ての人々が自分の能力をいかし生き生きと働ける社会を実現する。このような場面で本来は使うことば
そして、看護者の倫理綱領 前文 p131▶表 3-15 を確認してください。

* 本日から、知識として覚え、考える、関連づける、将来を展望する内容となります。PPを使った授業内容と教科書に関連づけて勉強して下さい。

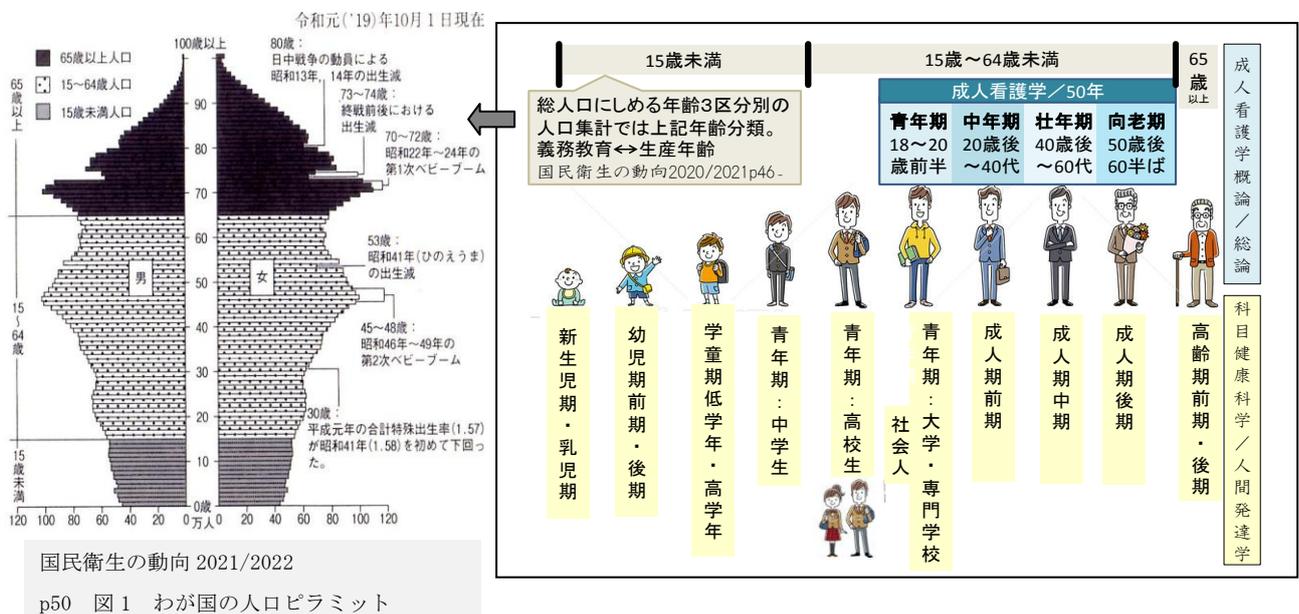
テーマ 対象である成人、すなわち「大人」について理解しよう。

- 目標
1. 青年期：おとなになることを理解する。
 2. 壮年期・中年期：大人であることを理解する。
 3. 向老期：熟年から人生の有終へ—老年期への移行を理解する

教科書範囲
P4-18
事前学習として教科書を読んで下さい

1. 成人期の『期』とは

メモ



2. 大人になることとは

メモ

- 子どもから大人へと心身が成熟していく時期
- さまざまな責任を担う立場になるための準備段階の時期
- 加速度的な成長(スパート) 性的成熟・心理社会的成熟に達する
- 危機的状態でもある*エリクソン [同一性] 対 [同一性混乱]

1) 子どもから大人へと心身が成熟していく時期の「身体的」「心理的」特徴とは

(1) 身体的

(2) 心理的

2) 第二次的特徴とは

メモ

1 生涯発達の特徴 p4-8



四歳で死ぬのも九十五歳で死ぬのも、そのいのちの輝きに変わりはない <細谷亮太>

発達▶
つねに連続的な変化、人間としての社会化する過程

量的変化と質的变化の関係▶
三側面のからみ合いを体験

発達の方向性と順序性▶
個人により遅速の差はあるが、自分らしく生きる方向性と順序がある。前の段階は次への段階のため必要

3. 青年期の発達の特徴とは

※心理・社会的な発達と身体的発達がどのように関係しているのかな

メモ

「目標 1. 青年期：おとなになることを理解する」は到達しましたか。要約してみましょう。

メモ

次回の予告 ③9月13日(月) ④9月14日(火)はオンライン授業です。学習方法は同じです。
③④で p18-85 までをめざします。必ず、必ず教科書を読んで授業参加してください。